


中学校 第3学年 単元「俳句への招き」 「俳句の感動の見つけ方を活用して、鑑賞文を書こう」



生徒作品
節「夕日もももぞ
ついでに
岩中 しげる

作者は夕日が差しているとき、荷がすくすく大きくなっているのを見たのだろう。
 夕日は荷よりもはるかに大きい。普通なら「夕日に荷がもももぞ」という「と表現するところを」「夕日」が自分よりもはるかに小さい「荷」にもももぞすると表現している。荷が精一杯生きようとしている生命力の大きさが、夕日のそれよりもはるかに大きいということを表現するために、あえて「荷に夕日もももぞ」と組み合わせたのだろう。
 見た目は小さくとも、とても大きな命を秘めているということを伝えたかったのだろう。

本実践における「活用」の考え方

1 ねらい

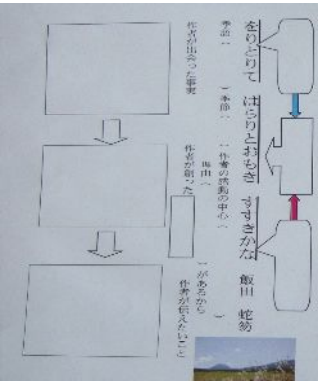
作者の感動を、鑑賞文で表現することができる。

2 どのような基礎的・基本的な知識や技能を活用するのか

- ・ 比喩や切れ字などの表現の特徴。
- ・ 作品全体のイメージと矛盾する語句を探し、作者が何に感動したのかを見つける手法。

3 このような教材を見つけました。

- ・ 「をりとりて はらりとおもき すすきかな」
 すすきが「はらり」と風にたなびいているイメージとは矛盾する語句として、「おもき」という語句が対比されています。



4 このような具体的支援が必要です

- ・ はじめに作品のイメージを持たせること。キーとなる語句や表現などから感じるイメージを持たせてから、合いそぐわないまたは疑問に感じる語句を探します。
- ・ 矛盾する作品のモデルを見せ、俳句の中の矛盾を実感させること。また、実際の俳句をもとに鑑賞文作りを行います。ここまでの作業を何度か反復することが大切です。

実践者からのお薦め



俳句や短歌を鑑賞するとき、これまではなかなか書けなかったり、単なる感想文になってしまったりすることが多かったようです。そのため、友達の商品に対して批評やアドバイスも具体的にできませんでした。しかしこの学習では、観点を設けることでそれを容易にしています。
 この手法は、短歌や詩、他の文章を鑑賞したり創作したり、また評価したりするときにも有効です。



本単元の指導計画(全7時間)

習得1(2)	①俳句の特徴を確認する。②教材を読み、俳句の意味を知る。
習得2・活用1(2)	③鑑賞文にはどんな要素が含まれるのか。どんな順序や方法で書けば作者の感動を上手く表現し、読む人に伝えられるのか、鑑賞の仕方を習得する。 ④習得した鑑賞の仕方を基に、他の俳句を鑑賞する。
活用2(1)	⑤好きな俳句を選んで、鑑賞文を書き、観点に沿って相互評価する。
活用3(2)	⑥⑦鑑賞文を推敲し、鑑賞文集を作る。

指導の実際(習得2・活用1)

学 習 活 動	具体的な支援
<p>1 前時の内容を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p><u>俳句の中の「矛盾」を見つけよう</u></p> <p>2 新しい観点をもとに俳句の鑑賞の仕方を習得する。</p> <p>(1)俳句の矛盾の見つけ方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい観点もとにした鑑賞の仕方 ①作者の出会った事実 ②矛盾した言葉 ③作者が伝えたい世界 <p>(2)矛盾する2つの語句から作者の感動を探す。</p> <p>【俳句例】</p> <p>A「雪国や はつはつはつはつ 時計生き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雪国の暗い静かなイメージ ②「はつはつはつはつ」という軽快なイメージ ③明るさ・元気さの強調 <p>B「をりとりて はらりとおもき すすきかな」</p>	<p>○前時までの活動を想起できるように、これまでの鑑賞を確認する。</p> <p>○矛盾する語句のある俳句をモデルとして提示する。</p> <p>○矛盾する二つの語句の効果を考え、鑑賞の新たな観点を習得できるように、矛盾しない他の語句を提示し、イメージの違いを発表する。</p>  <p>「すすき」と「おもき」は合わないね。</p>  <p>作者は、折り取ったときの重さに、すすきの「命」を感じたんだ。</p> <p>○既習・未習の俳句を、新しい観点や方法で鑑賞し、前時に持ったイメージと比較する場を設定する。</p> <p>○三つの観点をもとに俳句を評価できるように、観点別評価プリントを準備する。</p>
<p>3 鑑賞の観点・方法を活用して俳句を鑑賞する。</p> <p>(1)俳句の中の矛盾を探す。</p> <p>(2)二つの俳句の矛盾の効果を考える。</p> <p>4 本時を振り返る。</p> <p>(1)俳句の鑑賞において「矛盾」に目を向けることのよさについて確認する。</p> <p>(2)本時活動について自己評価をする。</p>	